



効果的な防疫で拡大を食い止めましょう <https://jaccnet.zennoh.or.jp/action/>

春になり、豚熱が関東で続発しています

ワクチンを接種した農場でも発生しています

特にワクチンを接種する前や接種した直後の子豚で多く発生しています

豚熱ワクチンは有用な対策資材ですが、

豚熱はワクチンを打てばかからない病気ではありません

豚熱発生を防ぐには、日ごろの飼養衛生管理を徹底しましょう！

特にイノシシなど野生動物の侵入を防ぐことに特段の注力をしましょう！

イノシシの習性

昼夜を問わずエサを求めて活動し、味が濃く甘いものが好物です

行動範囲は2～3km四方で、定着と移動を繰り返します

警戒心が強く臆病で人前に姿を現しませんが慣れると大胆不敵になります

学習能力が高く、エサが食べられると分かると何度も侵入を試みます

季節ごとのイノシシの行動（冬眠はせず、年中活動しています）

冬	春	夏	秋
発情・交尾期	出産・授乳期		性成熟

発生農場の周辺では、豚熱ウイルス陽性のイノシシが確認されています

東北全体で要注意！

山陰地方も要注意！



豚熱ウイルス陽性の
イノシシ検出

岩手県一関市で
検出（4月）、
北上市へ拡大

山口県、広島県で
検出（3月）、
島根県に拡大
（2022年6月9日現在）



・農水省の捕獲調査結果（WEB公開） 白：豚熱陰性 赤：豚熱陽性

全国的にイノシシからの豚熱ウイルス検出が増えています

農水省WEBページ **野生イノシシ検査状況** をチェックしましょう

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

病原体を入れない

1. 人、車両は立ち入りを規制する
2. 農場内に入れる時は必ず消毒する
3. 農場の入場記録をとる
4. 立ち入り禁止の看板を設置する
5. 畜舎の周囲に防鳥ネットを張る
6. 飲水は飲用に適したものにする
川水などを使う場合は必ず消毒する

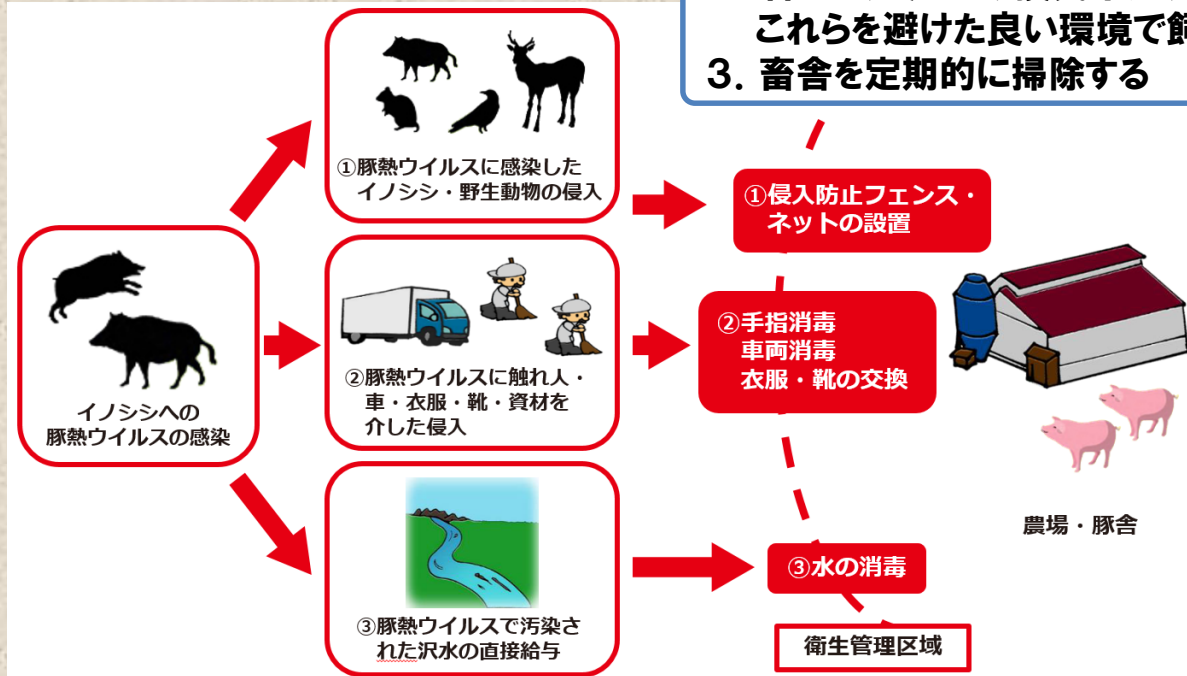
病原体を広げない

1. 畜舎毎に専用の長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日、豚の健康観察と記録
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除

病原体を増やさない

1. 過密をさけ、適切な密度で飼育する
2. 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風
これらを避けた良い環境で飼育する
3. 畜舎を定期的に掃除する

ウイルスの農場侵入予防のポイント



豚熱に効く消毒剤

種 類	商 品 名	希 釈 倍 数	種 類	商 品 名	希 釈 倍 数
塩素剤	ビルコンS クレンテ スミクロール	500倍～2000倍	逆性石けん	ロンテクト パコマ クリアキル100 アストップ	500倍～2000倍
		300倍～3000倍			500倍～2000倍
		100倍～1000倍			500倍～2000倍
ヨウ素剤	クリンナップA ファインホール バイオシッド30 ポリアップ16	200倍～800倍			オルソ剤
		200倍～800倍	100倍～300倍		
		500倍～1000倍	100倍～300倍		
		2000倍～5000倍	100倍～200倍		
アルデヒド	グルタクリン エクスカット	200倍～1000倍	有機物の影響も考慮し、濃い濃度での使用を推奨 逆性石けんは石灰等でアルカリ性にすることを推奨		
		200倍～1000倍			

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル
5000倍	4cc	20cc	100cc	500リットル	1250リットル	2500リットル